

令和	6	年間授業計画	教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ
教科:	外国語	科目:	英語コミュニケーションⅠ	単位数:	3	単位
対象学年組:	第1学年					
教科担当者:	1組 宮崎・工藤晋・長尾	2組 宮崎・工藤晋・長尾	3組 工藤晋・石黒・長尾	4組 工藤晋・石黒・長尾	5組 宮崎・下山・長尾	6組 宮崎・下山・長尾
使用教科書:	教科書: Crossroads English Communication Ⅰ (大修館) 副教材: ワークブック・スタンダード (大修館)、Take It Easy (National Geographic Learning)・スマートコレクション (啓林館)					

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や図表、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を掌握し、これらを活用して適切に表現したり伝えたりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞く・読む・話す(やり取り、発表)・書くことを通して、多くの支援を活用しつつ、目的や場面、状況などに応じて適切に英語でコミュニケーションするという、科学技術者に必要な技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えたりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者として必要なコミュニケーションを図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 [や]	話 [発]	書					
1 学 期	単元 1 From Another Point of View	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文の構造を理解し、科学技術者の育成に必要な異文化理解について、情報や考えを即興で伝え合う技能を身につける。	【異文化理解】 受動態・不定詞・完了形						①受動態、不定詞、完了形を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝え合う技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	14
	新しい文化の中で生活する人が直面する問題を理解し、支援する取り組みについて考えを伝え合う力を養う。	教科書、副教材等						新しい文化の中で生活する人が直面する問題を理解し、支援する取り組みについて考えを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査・関連動画を用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説								○	○		2
	単元 2 Is That True?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	関係代名詞、分詞の後置修飾等を理解し、科学者の育成に必要なメディアリテラシーについて情報や考えを身につける。	【メディアリテラシー】 関係代名詞・分詞の後置修飾						①関係代名詞・分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝え合う技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	14
	メディアリテラシーについて理解したことを基に、インターネット上の情報に接する際の注意点について考えを伝え合う力を養う。	教科書、副教材等						メディアリテラシーについて理解したことを基に、インターネット上の情報に接する際の注意点について考えを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表、関連動画を用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 3 Ocean Life	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	仮定法過去等を理解し、科学技術者の育成に必要な海洋環境について、情報や考えを即興で伝え合う技能を身につける。	【海洋環境】 itの用法・仮定法過去						①itの用法・仮定法過去を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝え合う技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○		○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	海洋資源や資源の保護についての情報や要点をまとめ、情報の概要や自分の考えを理由や根拠も含めて簡潔に話し合う力を養う。	教科書、副教材等						海洋資源や資源の保護についての情報や要点をまとめ、情報の概要や自分の考えを理由や根拠も含めて簡潔に話している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表、関連動画を用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				

令和

6

年間授業計画

教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅠ

教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅠ

単位数

3

単位

対象学年組

第 1 学年

教科担当者	1組	宮崎・工藤晋・長尾	2組	宮崎・工藤晋・長尾	3組	工藤晋・石黒・長尾	4組	工藤晋・石黒・長尾	5組	宮崎・下山・長尾	6組	宮崎・下山・長尾
使用教科書	教科書：Crossroads English Communication Ⅰ（大修館） 副教材：ワークブック・スタンダード（大修館）、Take It Easy（National Geographic Learning）・スマートコレクション（啓林館）											

教科	外国語	の目標
【知識及び技能】	英語の音声や図表、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を掌握し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。	

科目	英語コミュニケーションⅠ	の目標
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞く・読む・話す（やり取り、発表）・書くことを通して、多くの支援を活用しつつ、目的や場面、状況などに応じて適切に英語でコミュニケーションするという、科学技術者に必要な技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者として必要なコミュニケーションを図る態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説								○	○		2

令和	6	年間授業計画	教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ
教科：	外国語	科目：	英語コミュニケーションⅠ	単位数：	3	単位
対象学年組：	第1学年					
教科担当者：	1組 宮嵜・工藤晋・長尾	2組 宮嵜・工藤晋・長尾	3組 工藤晋・石黒・長尾	4組 工藤晋・石黒・長尾	5組 宮嵜・下山・長尾	6組 宮嵜・下山・長尾
使用教科書：	教科書：Crossroads English Communication Ⅰ（大修館） 副教材：ワークブック・スタンダード（大修館）、Take It Easy (National Geographic Learning)・スマートコレクション（啓林館）					

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や韻律、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を掌握し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞く・読む・話す（やり取り、発表）・書くことを通して、多くの支援を活用しつつ、目的や場面、状況などに応じて適切に英語でコミュニケーションするという、科学技術者に必要な技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者として必要なコミュニケーションを図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
2 学 期	単元 3 Ocean Life	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	仮定法過去等を理解し、科学技術者の育成に必要な海洋環境について、情報や考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【海洋環境】 itの用法・仮定法過去						①itの用法・仮定法過去を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	海洋資源や資源の保護についての情報や要点をまとめ、情報の概要や自分の考えを理由や根拠も含めて簡潔に話し合う力を養う。	教科書、副教材等						海洋資源や資源の保護についての情報や要点をまとめ、情報の概要や自分の考えを理由や根拠も含めて簡潔に話している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表、関連動画を用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 4 With a little Help	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法や文の構造を理解し、ボランティア活動・社会貢献活動について、情報や考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【ボランティア・社会貢献】 過去完了形・知覚動詞						①過去完了形・知覚動詞を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	14
	ボランティア活動について理解し、チャリティやボランティアについての考えなどを理由や根拠も含めて伝え合う力を養う。	教科書、副教材等						ボランティア活動について理解し、チャリティやボランティアについての考えなどを理由や根拠も含めて伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表、関連動画を用いた学習、関連動画を用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説								○	○		2
	単元 5 Living Longer and Better	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	関係副詞等の使い方を理解し、長寿と健康に関わるライフスタイルについて、情報や考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【健康・ライフスタイル】 関係副詞、さまざまな接続詞						①関係代名詞・分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	長寿と健康につながるライフスタイルについて理解したことを基に、自分の考えなどを理由や根拠も含めて伝え合う力を養う。	教科書、副教材等						長寿と健康につながるライフスタイルについて理解したことを基に、自分の考えなどを理由や根拠も含めて伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、エッセイライティング、関連動画を用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 6 Beyond Borders	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	関係代名詞の非制限用法等を用いた文の構造を理解し、海外の人々との文化の共有について考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【異文化交流】 関係代名詞のさまざまな用法						①関係副詞・さまざまな接続詞を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○		○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	国境を越えた文化交流について理解したことを基に、海外の人々との文化の共有について、考えや気持ちを伝え合う力を養う。	教科書、副教材等						国境を越えた文化交流について理解したことを基に、海外の人々との文化の共有について、考えや気持ちを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表、関連動画を用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説								○	○		2

令和	6	年間授業計画	教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ
教科：	外国語	科目：	英語コミュニケーションⅠ	単位数：	3	単位
対象学年組：	第1	学年				
教科担当者：	1組	宮崎・工藤晋・長尾	2組	宮崎・工藤晋・長尾	3組	工藤晋・石黒・長尾
	4組	工藤晋・石黒・長尾	5組	宮崎・下山・長尾	6組	宮崎・下山・長尾
使用教科書：	教科書：Crossroads English CommunicationⅠ（大修館） 副教材：ワークブック・スタンダード（大修館）、Take It Easy（National Geographic Learning）・スマートコレクション（啓林館）					

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や図表、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を掌握し、これらを活用して適切に表現したり伝えたりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞く・読む・話す（やり取り、発表）・書くことを通して、多くの支援を活用しつつ、目的や場面、状況などに応じて適切に英語でコミュニケーションするという、科学技術者に必要な技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えたりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者として必要なコミュニケーションを図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
3 学 期	単元 6 Beyond Borders	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	関係代名詞の非制限用法等を用いた文の構造を理解し、海外の人々との文化の共有について考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【異文化交流】 関係代名詞のさまざまな用法						①関係副詞・さまざまな接続詞を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	国境を越えた文化交流について理解したことを基に、海外の人々との文化の共有について、考えや気持ちを伝え合う力を養う。	教科書、副教材等						国境を越えた文化交流について理解したことを基に、海外の人々との文化の共有について、考えや気持ちを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表、関連動画をを用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 7 At a Station in London	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	知覚動詞、仮定法過去完了を用いた文の構造を理解し、ユダヤ人難民の子どもたちが直面した困難について考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【戦争・平和】 助動詞＋完了形・仮定法過去完了						①助動詞＋完了形、仮定法過去完了を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	14
	ユダヤ人難民の子どもたちが直面した困難について理解したことを基に、自分にひきつけて考えや気持ちを伝え合う力を養う。	教科書、副教材等						ユダヤ人難民の子どもたちが直面した困難について理解したことを基に、自分にひきつけて考えや気持ちを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表、関連動画をを用いた学習						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）／返却と解説								○	○		2